

令和7年度 第8回 常設審議委員会 次第

【メモ】

開催会場 第二水産ビル 3階 3S会議室

開催月日 令和 7年11月25日(火)

1 開 会

2 挨拶

3 議事録署名者指名

4 諮問・意見聴取

1) 農地法第4条及び第5条の規定に基づく意見聴取について

5 報 告

1) 令和7年度 全国農業委員会代表者集会の出席状況について

2) 水田政策の見直しに関する要請活動について(水田農業の在り方検討に係る関係機関連絡会議)

6 協 議

1) 令和7年度 地域の実態に即した施策の実現に向けた要請活動の実施について

7 そ の 他

8 閉 会

次回 令和7年度第9回常設審議委員会は、令和 7年12月22日(月曜日)

開会時間は、15:30です。※ 開催時間を変更する可能性があります。

場所は、第二水産ビル 8階 8BC会議室です。(予定)

※ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催日を期日とした書面開催を行う場合があります。

## 令和7年度全国農業委員会会長代表者集会開催要領

令和7年11月  
全国農業会議所

### 1. 開催の目的

農業経営基盤強化促進法に基づき令和7年4月までに全国1,615市町村の18,894地区で策定した地域計画については、その実現とブラッシュアップが急務となっています。

農地制度の適正な執行、認定農業者等意欲ある担い手の確保・育成、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等の「農地利用の最適化」を使命とする農業委員会系統組織として、市町村や関係機関・団体と連携しつつ、地域計画の実現とブラッシュアップに全力で取り組む必要があります。

このため、全国の農業委員会の会長代表者が一堂に会し、組織運動である「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を踏まえつつ、農業委員会組織として今後の取組みを加速させるための研修を行うことを目的に、全国農業委員会会長代表者集会を開催します。

2. 主 催：一般社団法人全国農業会議所

3. 参 加 者：農業委員会会長代表者並びに都道府県農業会議役職員等  
約1,800人

4. 実施方法等：会場への参集による開催

5. 期 日：令和7年11月27日(木) 13時～15時  
※決議と研修あわせて約90分とします。

6. 場 所：「文京シビックホール」  
住所：東京都文京区春日1-16-21  
TEL：03-5803-1100 (代)

## 7. 日 程

- (1) 開会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 運営委員長報告
- (5) 要請決議、申し合わせ決議

### ①要請決議

第1号議案 令和8年度農業関係予算の確保及び新たな基本計画の実現と農業構造の転換の推進に向けた要請決議  
(案)

### ②申し合わせ決議

第2号議案 「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進するための申し合わせ決議  
(案)

第3号議案 「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議  
(案)

## (6) 活動事例報告

- ①「平場地域の農地集約化と地域計画実現への取組み」 (仮題)

報告：富山県入善町農業委員会

- ②「中山間地域における地域計画実現への取組み」 (仮題)

報告：長崎県長与町農業委員会

- ③「地域計画の実現に向けた新規就農支援等の担い手確保への取組み」 (仮題)

報告：群馬県明和町農業委員会

## (7) 閉会

## 8. 運営委員会

運営委員会は、集会当日 12 時 20 分より同会場で開催する。

## 9. その他

- (1) 会場内での席は、主催より指定した座席とする。
- (2) 来賓挨拶は、農林水産大臣、衆・参両院農林水産委員長等とする。
- (3) 政府・国会への代表要請は、全国農業会議所の会長・役員を中心に行う。
- (4) 各農業会議においても可能な範囲で地元選出の国会議員への要請活動を行う。なお、国会議員には本集会のご案内はしておりません。

(別紙①)

**令和 7 年度全国農業委員会会長代表者集会  
参加見込み人数（案）**

北海道	172	静岡	37	岡山	30
青森	42	愛知	56	広島	22
岩手	35	三重	31	山口	20
宮城	36	新潟	32	徳島	26
秋田	27	富山	17	香川	18
山形	37	石川	21	愛媛	22
福島	61	福井	19	高知	35
茨城	46	長野	79	福岡	62
栃木	27	滋賀	21	佐賀	22
群馬	36	京都	28	長崎	23
埼玉	64	大阪	44	熊本	47
千葉	55	兵庫	42	大分	20
東京	46	奈良	39	宮崎	28
神奈川	34	和歌山	32	鹿児島	45
山梨	29	鳥取	21	沖縄	39
岐阜	44	島根	21	計	1,790

※ 5月の大会参加案内時の人数と同じです。



(別紙②)

## 会場案内図



## 文京シビックホール

住 所：東京都文京区春日 1-16-21

電 話：03-5803-1100 (代)

## ＜交通アクセス＞

- 東京メトロ後楽園駅・丸の内線（4a・5番出口）南北線（5番出口）徒歩1分
- 都営地下鉄春日駅三田線・大江戸線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分
- JR 総武線水道橋駅（東口）徒歩9分

# 水田政策見直しに関する要請対応について

---

水田農業の在り方検討に係る関係機関連絡会議

第三回総括WG

# 概 要

## 1 主 体

- ・水田農業の在り方検討に係る関係機関連絡会議

## 2 時 期

- ・令和7年11月17日（月）～21日（金）で調整

## 3 提案先

- ・農林水産省（大臣宛て）
  - ※農産局長（企画課長、水田対策室長は事務方想定）
- ・道選出国会議員（各議員名が基本）
  - ※農業構造転換推進委員会メンバーを中心に調整

## 4 スケジュール

- ・11/ 5（水） 総括WG開催：時期、要請先、要請書（素案）について協議
  - ➡協議結果を踏まえた上で各組織内での合意形成、必要に応じて調整
- ・11/12（水）頃 意見書（案）の確定
- ・11/17（月）の週 農水省、道選出国会議員への政策提案（上京）

※日程調整は同時並行で進める（直前まで決まらない可能性あり）

## 5 前回の提案内容（R7.2.14）

北海道の水田地帯においては、生産者や生産者団体等が中心となって、全国的な米の需給安定のため、生産の目安を踏まえた作付けを推進し、多様なニーズに対応したコメの生産・販売や経営の効率化を図るなど、それぞれの地域で将来を見据えた活力ある産地づくりを進めており、令和3年に示された水田活用直接支払交付金の見直しにおいては、道内の関係機関・団体で構成する連絡会議を立ち上げ、令和6年度からは、地域がそれぞれの実情に応じた水田農業の将来像の検討を進められるよう、オール北海道で取り組んでいるところです。こうした中、今般、水田政策を令和9年度から根本的に見直す検討を本格的に開始することが「水田政策の見直しの方向性について」により示されましたが、今後も本道が我が国の食料安全保障に最大限寄与していくためには、見直しの方向性について、地域や生産者の理解を得ながら取り組んで行くことが重要です。つきましては、地域の担い手や関係者が夢と希望をもって、産地づくりに邁進できるよう、次の事項について、特段の御配慮をお願い申し上げます。

### 記

#### ■ 円滑な政策転換に向けて

水田農業の持続的発展に向けて、地域では、令和3年に示された水田活用直接支払交付金の見直しに基づく対応を行っているところであり、円滑な政策転換を進めるためにも、**これまでの取組との整合性に配慮しながら、現場の実情を踏まえた制度**となるよう検討すること。

#### ■ 見直しの検討の進め方について

今回示された見直しの方向性は、地域の農業に大きな影響を及ぼす可能性があることから、令和9年度に向けた見直しの検討に当たっては、本道の水田農業関係者への情報提供や**丁寧な説明**を行うとともに、地域との**意見交換の機会**を設けること。

## 6 前回提案時からの情勢変化

### (1) 9年度以降の水田政策について

- ・閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」に水田政策を令和9年度から根本的に見直す旨、明記。(R7.4)

#### <参考：食料・農業・農村基本計画（抜粋）>

水田政策を、以下の方向で令和9年度から根本的に見直す。

水田を対象として支援する水田活用の直接支払い交付金を、以下のとおり、作物ごとの生産性向上等への支援へと転換する。このため、令和9年度以降、「5年水張りの要件」は求めない。(中略)

- ・米については、国内外の需要拡大策、大区画化、スマート技術の活用、品種改良等の生産性向上策等を強力に推進する。輸出を含めた米需要拡大を目指し、新市場開拓用米、米粉用米等を支援する。
- ・国産飼料の生産性向上を図るため、飼料用米中心の生産体系を見直し、青刈りとうもろこし等の生産振興を図る。
- ・麦、大豆、飼料作物については、食料自給力向上の費用対効果を踏まえて、水田、畑に関わらず、生産性向上に取り組む者の支援へ見直すべく検討する。
- ・有機や減農薬・減肥料等について支援する（主食用米も対象）。
- ・農業者が急減する中で、地域計画の実現に向け、担い手が生産性の向上を伴いながらより多くの離農農地の引受けを進めていけるよう、農地の集約化等への支援制度について、既存制度を見直し、強化する。
- ・産地交付金について、現場の実態を調査・検証した上で、水田・畑に関わらず、中山間地域等の条件不利地域も含め、地域の事情に応じた産地形成が促進される仕組みとする見直しを検討する。
- ・中山間地域等直接支払について、条件不利の実態に配慮し、支援を拡大する。
- ・多面的機能支払について、活動組織の体制を強化する。
- ・予算は、現行の水活の見直しや見直しに伴う既存施策の再編により得られた財源を活用する。このように、構造転換に必要な予算をしっかりと確保していく。

## 6 前回提案時からの情勢変化

- ・ 自民党農業構造転換推進委員会の発足（R7.9、江藤委員長）

### <短期対策>

- ・ 米の生産量に関する統計調査の精度の向上
- ・ JA系統以外の集荷業者や小売、中食・外食を含め、民間在庫量のより詳細な把握
- ・ 精米ベースでの供給量の把握、直近の消費動向を踏まえた需要量の把握、流通実態の需給見通しへの反映 等

### <中長期対策>

- ① 新たな水田政策の方向性（作物ごとの生産性向上支援、産地交付金、米粉等による国内外の需要拡大、日本型直接支払、新たな環境支払交付金、SN対策）
- ② 官民による備蓄対策の強化策
- ③ 流通の円滑化のための対応方向（コストを考慮した合理的な価格形成）
- ④ 需要に応じた増産に向けた生産性向上の促進策（担い手確保、農地集約・大区画化、スマート農業 等）
- ⑤ 関係団体・事業者の取組（販売力強化、輸出拡大 等）

## (2) 米政策について

- ・ 政府備蓄米の売渡し（入札方式、随意契約方式）、7年産の買い入れ中止
- ・ 統計調査の見直し（作況指数の廃止・別指標の公表、ふるい目幅の変更 等）
- ・ 需要見通しの見直し（マイナストrendからの見直し 等）
- ・ 増産方針（R7.8関係閣僚会議）→ 需要に応じた増産（R7.8概算要求）→ 需要に応じた生産
- ・ 備蓄政策の見直し検討 ※11月中に農業構造転換推進委員会が提言？（報道情報）

## (3) 生産・流通・消費関係者との意見交換について

- ・ 道では、消費者、小売、卸・集荷団体、生産者団体等を集めた意見交換（R7.8）

### <出席者の総意として取りまとめた意見>

- ・ 将来にわたり安定生産・供給が望まれており、北海道への期待は大きい。
- ・ 理解醸成、納得感のある価格形成、備蓄米を含め余裕のある在庫の確保が重要。
- ・ 米不足や価格高騰の要因、備蓄の在り方も含め速やかな検証・公表が重要。
- ・ 国による精緻な需給見通しの公表と丁寧な説明が重要。



## （４）生産者等との意見交換について

- ・生産者（指導農業士・農業士、法人協会、女性部、青年部等）、市町村、JA等との意見交換（R7.7～9）

### <主な意見（キーワード）>

- ・ 9年度以降の水田政策の早期提示
- ・ 中長期的な安定（地域への影響配慮）、丁寧な説明や意見交換会の機会創出
- ・ 増産には「需給(価格)の安定」、「SN」、「種子」、「省力化」、「基盤整備」が必要
- ・ 米以外の作物生産に対する支援、産地交付金、陸稻的栽培の扱い

## （５）国との意見交換について

- ・連絡会議（総括WG）と農林水産省（笠原水田対策室長）との意見交換（R7.9）

### <主な発言（笠原室長）>

- ・ 9年度以降の方向性について、一気には出せないが11月くらいに何かしら出せればと思っている。
- ・（政策の安定については）猫の目農政と言われたいよう、9年度に向けて頑張っていきたい。
- ・ 省力化など新たなチャレンジへの支援は、先駆者が馬鹿を見ないようにしたい。
- ・ SN、あまり議論進めていないが、安心できる仕組みづくりは必要という問題意識はある。
- ・ 見直しに当たってはパッケージで示すことの重要性は理解。  
経営全体として意欲ある農家が支援されるという説明をしないとイケないと考えている。
- ・ 産地交付金は、各県協議会に調査しているが、役に立っているという声がある一方、硬直化という意見や、都道府県ごとの配分基準の明確化を求める声もある。



## 7 情勢変化を踏まえた提案内容の検討

- ✓ 水田政策の見直しに当たって、詳細情報が示されていない現状を踏まえ、  
「これまでの取組との整合性」、「現場の実情を踏まえた制度」については、  
引き続き求めているかどうか。
- ✓ また、生産現場への十分な周知期間を確保する観点から、  
「早期提示」を求めているかどうか。
- ✓ 政策の安定を望む声が多いことから、  
「中長期的な安定」を求めているかどうか。
- ✓ 今般の米不足や価格の急激な上昇に至った事態を踏まえ、政府備蓄米の運用も含め、  
「米の安定生産・供給に向けた検証」や「対策」を求めているかどうか。
- ✓ 提案内容に関して、
  1. 短期対策（米の安定供給に向けた対策）と、
  2. 中長期対策（9年度以降の水田政策の見直し）を分けて整理してはどうか。

## 8 政策提案（素案）

別添のとおり

農林水産大臣 鈴木 憲和 様

報告事項 2-2

# 水田政策の見直しに関する 要請書

令和7年11月

水田農業の在り方検討に係る

関係機関連絡会議

# 水田農業の在り方検討に係る関係機関連絡会議

北 海 道

北 海 道 農 業 協 同 組 合 中 央 会

北 海 道 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会

一 般 社 団 法 人 北 海 道 農 業 会 議

公 益 財 団 法 人 北 海 道 農 業 公 社

北 海 道 農 民 連 盟

北 海 道 市 長 会

北 海 道 町 村 会

昨夏の米不足やその後の急激な価格上昇など、米の安定供給に対する世間の関心が高まる中、北海道の水田地帯においては、令和7年産の主食用米で「生産の目安」の追加設定を行うなど、生産者や生産者団体等が中心となって、全国的な米の需給安定のため、生産の目安を踏まえた作付けを推進し、多様なニーズに対応した米の生産・販売や経営の効率化を図り、それぞれの地域で活力ある産地づくりを進めているところです。

国では、本年4月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」の中で、水田政策を令和9年度から根本的に見直すこととしていますが、今後とも、主食である米をはじめ、麦・大豆などの畑作物を含めた安定的な食料確保を実現するためには、中長期的な視点に立って、水田政策の充実・強化を図ることが重要です。

つきましては、本道農業の担い手や関係者が夢と希望をもって、それぞれの地域の実情に即した産地づくりに邁進することで、食料供給地域である本道が、我が国の食料安全保障に最大限寄与できるよう、次の事項について、特段の配慮をいただくよう、要望いたします。

## 記

### 1 米の安定生産・供給に向けた対策の強化

- (1) 我が国の主食であり、唯一自給可能な穀物である米については、将来にわたり安定して手に入る環境を、消費者を含む多くの方々が望んでいることから、米の安定的な生産・供給に向けて、今般の米不足並びに価格の急騰に至った要因や備蓄の在り方も含めた検証を、引き続き行うとともに、米の生産・流通・消費の実態把握や需給見通しの精度向上を図り、全国の各産地において、国内外の需要に応じた生産が着実に実施できるよう、実効性のある対策を講じること。

#### 〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・安定生産・供給に向けた「需要に応じた生産」のためには、基礎となる需給見通しの精度向上、需給見通しを踏まえた「生産の目安」の設定、加工用や輸出用など多様なニーズに応じた生産を促す産地交付金を含めた水活交付金などの支援措置が重要。
- ・道では、目安や産地交付金の活用によって、これまで水稻作付面積の維持や、加工用米の推進などに取り組んできたところであり、「目安」と「交付金」が担ってきた役割を引き続き求めるもの。

- (2) 米の価格については、生産・流通・消費それぞれが納得感のある価格形成がなされるよう、流通構造の透明性確保等を通じた理解醸成や適切な情報発信を行うとともに、コスト指標の作成に当たっては、持続的な生産に向けた基盤整備や機械導入への投資など、現場実態を踏まえたものとなるよう、取り進めること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・国では、食料システム法に基づく米のコスト指標作成に向け、関係者を集めた準備会合を開催するなど、検討を進めていると承知。
- ・コスト指標については、生産現場での関心も高く、特に、農地の受け手として期待される担い手農家からは、将来に向けた投資など現場実態の反映を求める意見が多く、持続可能な生産に向け、こうした声が反映されるよう、取り進めていただきたい。

- (3) 政府備蓄米の買い戻しに当たっては、市場のシグナルを注視し、急激な価格の下落により生産者の所得が減少するなど経営に影響が生じないよう、適切な運用を図ること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・国は、政府備蓄米の売渡し（全体で 59 万トン予定）に係る買戻し及び買入れは、今後の需給状況等を見定めた上で行うこととしている。
- ・10 月 30 日の食糧部会で示された需給見通しにおいて、R8.6 末時点の民間在庫量が 215～229 万トンと、直近 10 年程度で最も多い H27 の 226 万トンに匹敵する水準となっており、生産現場からは需給バランスの崩れによる急激な価格下落を懸念する声がある。
- ・このため、政府備蓄米の買戻し・買入れに当たっては、時期や価格について、農業経営に影響を生じさせないよう、適切に運用いただきたい。

## 2 地域の実情を踏まえた水田政策の見直しと早期提示

- (1) 水田政策の見直しに当たっては、これまでの取組との整合性や現場の実情を踏まえ、意欲ある生産者が将来にわたって安心して営農に取り組むことができるよう、中長期的に安定した制度とすること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・水活交付金をはじめとした水田政策は、農業経営や産地づくりに大きな影響を及ぼすことから、令和 9 年度以降の水田政策については、これまで国が示した方針に沿って地域が進めてきた取組との整合性を踏まえるとともに、安定した制度を構築いただきたい。

(2) 水田地帯においては、水田活用直接支払交付金をはじめとする直接支払制度が活用されている実情を踏まえ、これらの制度見直しに当たっては、農業者の所得が確保され、持続的な生産が可能となる制度とすること。

また、産地交付金については、需要に応じた生産や地域作物の振興に大きく寄与していることから、地域や農業経営への影響に十分配慮の上、地域が裁量を持って活用できる制度の仕組みを維持すること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・ 水田政策の見直しに当たっては、水活交付金だけではなく中山間や多面など様々な直接支払交付制度により農業経営や産地づくりが行われている水田地帯の実態に十分配慮し、農業者の所得が確保され、持続的な生産が可能となるよう、検討を進めていただきたい。
- ・ 特に、産地交付金については、加工用米や輸出用米など、需要に応じた生産の推進や地域作物の振興に大きく貢献しており、道内の各地域において配分額への関心も高いことから、見直しに当たっては、地域や農業経営に十分配慮いただくとともに、地域が裁量を持って活用できる制度の仕組みを維持していただきたい。

(3) 水田政策の見直しは、生産現場における必要な種子の確保や機械・設備への投資計画などにも関わることから、十分な周知期間が設けられるよう、早期に提示するとともに、丁寧な説明や地域との意見交換の機会を積極的に設けること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・ 水稻種子の確保や各種投資計画は1年以上前から進める必要があるため、制度設計に当たっては、できる限り早期の提示と、地域との意見交換の機会を積極的に設けていただきたい。
- ・ なお、道では、関係機関・団体で構成する連絡会議を設けており、地域の意見吸い上げや道内関係者への情報提供について、広域的立場としての役割を果たしてまいりたい。

(4) 水田政策の具体的な制度設計に当たっては、地方公共団体や農業団体などの事務負担軽減が図られるよう、検討すること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・ 生産者のみならず、市町村の農業担当部署や農業団体の職員数も減少する中、事業ごとに異なる要件確認など肥大化する事務負担の軽減を求める声は多く、今後、制度見直しに当たっては、事務負担軽減の視点も含めて検討いただきたい。

- (5) 食料・農業・農村基本計画などで明記されている米の増産目標の達成に向けて、国内外の需要拡大を図るとともに、大区画化やスマート技術の活用など生産性向上に向けた取組を支援するほか、米価の下落による収入減少や、資材価格の高騰等による所得低下に対応可能なセーフティネットを構築すること。

〈要請時メモ（事務局用）〉 ※未定稿

- ・食料安全保障の確保に向けて、基盤整備やスマート技術の活用などの生産性向上の取組への支援は重要。
- ・セーフティネットについては、収入減に対応する現行のナラシや収入保険だけではなく、コスト上昇に伴う所得減に対応可能な仕組みを構築いただきたい。

実施時期： 令和 7年11月26日（水）13：00～令和 7年11月28日（金）12：00

集合場所： 国会議員会館ロビー 11月26日 12：45 / 11月27日 8：45 / 11月28日 8：45

出席者： 菊入会長・吉田副会長・中井副会長・乾専務理事・佐藤農政・業務担当部長 他

日 時	行 事	菊入会長	吉田副会長	中井副会長	事務局	備 考
11月26日（水）12:45	集 合	×	×	○	○	国会議員会館
11月26日（水）13:00	農業者年金	○	×	×	×	銀座フロッサム
11月26日（水）13:00～16:00	要請活動	×	×	○	○	国会議員会館
11月26日（水）16:00	合 流	○	×	×	×	国会議員会館
11月26日（水）16:00～17:00	要請活動	○	×	○	○	
11月27日（木）08：45	集 合	○	×	○	○	国会議員会館
11月27日（木）09:00～12:00	要請活動	○	×	○	○	国会議員会館
11月27日（木）12:00	一時離脱	○	×	×	×	
11月27日（木）12:20	全国運営委員会	○	×	×	×	文京シビック
11月27日（木）12:45	合 流	×	○	×	×	国会議員会館
11月27日（木）13:00	全国代表者集会	○	×	×	×	文京シビック
11月27日（木）13:00～16:00	要請活動	×	○	○	○	国会議員会館
11月27日（木）16:00	合 流	○	×	×	×	国会議員会館
11月27日（木）16:00～17:20	要請活動	○	○	○	○	国会議員会館
11月28日（金）08:45	集 合	○	○	○	○	国会議員会館
11月28日（金）09:00～12:00	要請活動	○	○	○	○	国会議員会館
11月28日（金）12:00	解 散	○	○	○	○	



衆議院第一議員会館		
議員室	議員	備考
1202	鈴木 貴子 自	
820	大築 紅葉 立	
623	伊東 良孝 自	
512	西川 将人 立	
508	池田 真紀 立	
324	松木 謙公 立	
306	山岡 達丸 立	
302	向山 淳 自	

衆議院第二議員会館		
議員室	議員	備考
1020	東 国幹 自	
1010	武部 新 自	
801	神谷 裕 立	
717	佐藤 英道 公	
705	川原田英世 立	
622	臼木 秀剛 国	
602	荒井 優 立	
517	逢坂 誠二 立	
516	道下 大樹 立	
512	石川 香織 立	
406	中村 裕之 自	

参議院議員会館		
議員室	議員	備考
1219	鈴木 宗男 自	
803	橋本 聖子 自	
701	徳永 エリ 立	
619	長谷川 岳 自	
611	岸 真紀子 立	
608	勝部 賢志 立	
424	船橋 利実 自	
412	東野 秀樹 自	
402	横山 信一 公	
303	高橋はるみ 自	
205	岩本 剛人 自	

1 1月26日(水) 12:45 衆議院第2議員会館ロビー集合

時 刻	場 所	議員名	出席者
13:00～	予備枠		中井副会長・乾専務・佐藤部長 金澤順悦(古平町:会長)・長谷川剛(岩内町:会長) 高田幸則(蘭越町:事務局長)
13:45～14:20	衆議院第2議員会館 705	川原田 英 世	
14:30～15:05	衆議院第2議員会館 512	石 川 香 織	
15:15～15:50	衆議院第1議員会館 1202	鈴 木 貴 子	
16:00～16:35	衆議院第1議員会館 623	伊 東 良 孝	菊入会長・中井副会長・乾専務・佐藤部長 金澤順悦(古平町:会長)・長谷川剛(岩内町:会長) 高田幸則(蘭越町:事務局長)
16:45～17:20	衆議院第1議員会館 306	山 岡 達 丸	

1 1月27日(木) 08:45 衆議院第2議員会館ロビー集合

時 刻	場 所	議員名	出席者
09:10～09:45	衆議院第2議員会館 622	白 木 秀 剛	菊入会長(※ 東代議士まで)・中井副会長・乾専務・佐藤部長 立田幸男(初山別村:会長)・仙北清孝(増毛町:会長) 入江雄治(羽幌町:会長) 金澤順悦(古平町:会長)・長谷川剛(岩内町:会長) 高田幸則(蘭越町:事務局長)※ 後志は東代議士まで 空知4名 合計 11名
09:55～10:30	衆議院第2議員会館 801	神 谷 裕	
10:40～11:15	衆議院第2議員会館 1020	東 国 幹	
11:25～12:00	衆議院第1議員会館 512	西 川 将 人	
12:45	吉田副会長合流(参議院ロビー)		
13:00～13:35	参議院議員会館 701	徳 永 エ リ	吉田副会長・中井副会長・乾専務・佐藤部長
13:45～14:20	参議院議員会館 619	長谷川 岳	
14:30～15:05	参議院議員会館 205	岩 本 剛 人	
15:15～15:50	参議院議員会館 424	船 橋 利 実	
16:00～16:35	参議院議員会館 1219	鈴 木 宗 男	菊入会長・吉田副会長・中井副会長・乾専務・佐藤部長・川崎(会議所:会議所の要望書持ち込み)
17:00～17:30	衆議院第2議員会館 1010	武 部 新	

1 1月28日(金) 08:45 衆議院第2議員会館ロビー集合

時 刻	場 所	議員名	出席者
09:10～09:45	衆議院第2議員会館 517	逢 坂 誠 二	菊入会長・吉田副会長・中井副会長・乾専務・佐藤部長 脇 敏昭(長万部町:会長)・田中 浩(長万部町:事務局長) 相木郁弥(長万部町:主任)・澤田 亨(北斗市:会長) 野田広樹(北斗市:事務局長)・森永康男(木古内:会長) 加藤崇誠(木古内:主任)・檜山5名・後志3名 合計 20名
09:55～10:30	衆議院第1議員会館 820	大 築 紅 葉	
10:40～11:15	衆議院第2議員会館 406	中 村 裕 之	
11:30～12:00	参議院議員会館 412	東 野 秀 樹	

管内	要請スケジュール	備 考
空 知		農業会議と一緒に要請
石 狩	独自要請なし	
後 志		農業会議と一緒に要請
胆 振	11月26日（水） 13：00～18：00 11月27日（木） 09：00～12：00 橋本 聖子 参議院議員・山岡 達丸 衆議院議員	
日 高	独自要請なし	
渡 島		農業会議と一緒に要請
檜 山		農業会議と一緒に要請
上 川	11月27日（木）08：20～08：50 東 国幹 衆議院議員 11月28日（金）10：00～10：30 西川 将人 衆議院議員 11月28日（金）16：00～16：30 東野 秀樹 参議院議員 11月29日（土）09：00～09：30 鈴木 宗男 参議院議員	
留 萌		農業会議と一緒に要請
宗 谷	11月26日（水） 18：30～2 h 武部 新 衆議院議員 11月27日（木） 18：00～2 h 川原田 英世 衆議院議員	
オホーツク	11月27日（木） 10：00～2 h 東野 秀樹 参議院議員 11月27日（木） 16：00～2 h 船橋 利実 参議院議員	
十 勝	11月26日（水） PM 11月27日（木） AM 不明	
釧 路	11月26日（水） 11：00～ 鈴木 宗男 参議院議員	
根 室	11月26日（水） 15：30～ 篠田奈保子 衆議院議員	
	11月27日（木） 10：30～ 伊東 良孝 衆議院議員	
	11月27日（木） 15：00～ 鈴木 貴子 衆議院議員	